

# 平成28年度事業報告書

～地域とともにあゆむ～

社会福祉法人 敬愛会

## 目 次

### 1. 事業報告概要

(ア) 実施事業

(イ) 役職員配置状況

(ウ) 法人内有資格者一覧

### 2. 事業報告

(ア) 法人本部

(イ) 総務部

(ウ) 介護部

(エ) 在宅介護事業部

平成 28 年度事業所別業務への取り組み

### 3. 平成 28 年度利用実績状況

## 1 事業報告概要

～「つながりをチカラに」私たちは地域に愛される法人を目指します～  
はじめに

平成28年度の事業計画において策定した基本的なプライマリーバランス（基礎的財政収支）の構築及び「社会福祉法の一部を改正する法律」（以下、「改正社会福祉法」という。）の一部施工への対応や平成29年度の完全施行に向けた組織の内部ガバナンス強化に向け、本会の中長期目標である（1）事業経営の透明化（2）メリハリかつ高水準の職員処遇（3）地域福祉のさらなる拡充という目標に加え、本年度より新たな目標として「（4）事業の見せる化」と「（5）法人施設の安全体制の強化」を含む大きな5本の柱を軸に経営してまいりました。

この4本目の「柱」である事業の「見せる化」の背景にある我々社会福祉法人への認識不足の解消やいわゆる「老人ホーム」や「保育園」といわれている事業の最先端の知識や技術、さらには先進的な取組を地域や利用者の家族等に「理解してもらおう」ことを目的とした「地域シンポジウム」と「介護・保育研究発表会」を開催し、多数の方々にご来場いただきました。これらの開催に際し、職員全員が一丸となり、計画から実施に向けてさまざまな取組を行い、盛大に開催することができ、職員一人ひとりにも大きな自信になり、まさにオール敬愛会でこの取り組みを成功することができました。

5本目の柱である「法人施設の安全体制の強化」では平成28年7月の神奈川県障害者施設で起こった事件や岩手県の土砂災害を受け、総合警備保障との警備契約や災害時におけるBCP（事業継続計画）を策定しました。このBCPの策定にあたり、地域のハザードマップとの整合及び余力が残されている場合の地域に対する資源の提供や福祉避難所としての機能構築の確立に向け、職員間の情報共有に努めました。また、財務基盤の強化につきましてはここ数年問題とされてきました（1）介護職員の不足や、（2）介護報酬のマイナス改定の中での介護職員処遇改善の縛り、さらには（3）特別養護老人ホーム等の施設整備の拡大に伴う特別養護老人ホームの待機者の減少等による稼働率の低下による収入の減少予想に対し、ICTを活用し業務省略化を柱とした経営改革によりプライマリーバランスの適正化を実現し、また積立資産の積立基準の明確化等を行い収益率の向上を目指した結果、前年度対比で当期活動増減差額が123%という結果（前年度決算値より会計移行に伴う過年度修正額を除いた額）を達成することができました。

地方分権化が進むなか、制度の谷間も含め、その地域の実情に合わせた「社

会福祉の総合商社」としての役割が求められる一方で法人の財務基盤の強化のために法人の大規模化も必要とされております。

今般の改正社会福祉法の全面施行に伴い、那須烏山市の人口動態を見極め、高齢者介護に特化した法人経営から地域に必要とされる各社会福祉分野に積極的に参入できるノウハウや行動力、そして財務基盤を持ち合わせた総合社会福祉法人となるべく今後とも職員一同努力してゆきたいと思っております。

(ア) 実施事業

第1種社会福祉事業	
特別養護老人ホーム敬愛荘の設置経営	定員 80 名
特別養護老人ホームてんまりの杜の設置経営	定員 29 名
第2種社会福祉事業	
短期入所生活介護事業の実施（特別養護老人ホーム敬愛荘）	定員 15 名
デイサービスセンター事業の実施（特別養護老人ホーム敬愛荘）	定員 30 名
居宅介護支援事業の実施（敬愛荘在宅介護支援センター）	
グループホームさらいの設置経営	定員 18 名
小規模多機能ホームなごみの設置経営	定員 29 名
事業所内保育施設にじいろ保育園の設置経営	定員 10 名

(イ) 役職員配置状況（等級別）

理事	7	理事長 1 名 常務理事 1 名（常勤）
評議員	15	
監事	2	

	常勤	常勤（兼務）	パート	計（名）
理事長 1 名（統括施設長兼務）		1		1
特別養護老人ホーム敬愛荘 施設長級職員		1		1
部長級職員		1		1
課長級職員	1			1
主任級職員	7			7
一般職員	41		18	59
合計	49	2	18	69

特別養護老人ホームてんまりの杜				
部長級職員	1			1
主任級職員	5			5
一般職員	10	1	3	14
合 計	16	1	3	20
グループホームさらい				
センター長級職員	1			1
主任級職員	1			1
一般職員	8		2	10
合 計	10		2	12
小規模多機能ホームなごみ				
センター長級職員	1			1
主任級職員	1			1
一般職員	6	2	6	14
合 計	8	2	6	16
事業所内保育施設にじいろ保育園				
園長		1		1
主任級職員	1			1
一般職員	2		1	3
合 計	3	1	1	5
法人合計	87	(6)	30	122
男女比率	平均年齢			
男性 32% 女性 68%	43 才			
平均在籍期間	6 年			
(ウ) 法人内有資格者一覧				
介護福祉士	37 名			
社会福祉士	1 名			
社会福祉主事	12 名			
介護支援専門員	8 名			
介護福祉士実習指導者研修修了者	3 名			
ユニット施設管理者研修修了者	1 名			
ユニットリーダー研修修了者	5 名			
認知症介護管理者研修修了者	3 名			
認知症介護実践研修修了者	9 名			
看護師	3 名			
准看護師	5 名			

栄養士	2名
保育士（現業）	3名
衛生管理者	3名
言語聴覚士	1名
理学療法士	1名

（ア）法人本部

①CROW カフェ山あげ祭り出店（駅前ひろばタッチ）



②介護の日フェスティバルへの参加（栃木県庁）



③地域シンポジウムへの参加（南那須公民館）



④地域における清掃活動の実施

地域社会への貢献をより高め、地域との連携を強固にする取り組みとして、有志が集い近隣の幹線道路の美化活動を実施しました。

平成 28年 5月 29日(日)

変電所停留所付近沿い歩道の散乱したゴミ拾い。

#### ⑤キラキラ介護事業所 優秀賞受賞

栃木県内の介護事業所等において、働きやすい職場づくり、働く人のスキルアップなどで優れた取組を行う介護事業所等を県が表彰する事業です。

[平成 29 年 3 月 28 日表彰式の様子]



#### (イ) 総務部

総務部は「慢性的に続いている介護人材難を打開する」を年間目標に掲げ、定期的な求人活動と魅力ある法人づくりに努めてまいりました。法人独自の特色ある福利厚生制度を充実させ、他職種チーム制県外研修、納会の実施を致しました。

その成果としまして、他職種間で連携が取れるようになり、法人全体のチーム力が強化となり、エルダー的役割を担えることで早期離職に対する防止効果を上げる事が出来ました。

また、法人の取り組みが認められ、キラキラ介護事業所グランプリで優秀賞を受賞することが出来ました。

今後さらに職員のモチベーションのアップ、事業所としてのレベルアップに取り組む事により、働きやすい職場を実現させることで職員の定着率安定を目指します。

#### ◎総務課・雇用推進相談室

##### (1) 求人活動

(ア) 求人広告 2 回

(イ) 企業説明会参加～県内 3 回

##### (2) 福利厚生度など職員サポート体制の充実

(ア) 納会の実施

(イ) 他職種チーム制県外研修の実施 上期・下期チーム

(ウ) 職場内体験プランの実施

(エ) メンタルヘルスの対応

##### (3) 年間を通して行ったコスト管理

(4) 新電力業者・消耗品業者・リース業者価格合わせの実施

(5) 預金保護対策に向けた口座開設

(6) ふくし応援し隊カフェの開催～8 回

(7) 地域シンポジウムの開催

◎栄養課

- (1) ふくし応援し隊カフェのサポート
- (2) イベント食のサポート
- (3) 法人設立記念行事食の立案
- (4) 職員への健康アドバイス

◎こども課

- (1) 研究発表会への参加
- (2) 夏休み親子ディンプルアート教室の実施
- (3) 冬休み親子クリスマスケーキ作りの実施
- (4) 連携施設「烏山みどり幼稚園」との連携強化～月1回の交流会実施と運動会への参加
- (5) 敬老会行事への参加（児童のお祝いの言葉、歌と遊戯の発表）
- (6) 地域密着型施設合同秋まつりへの参加（歌と遊戯の発表）
- (7) 保育参観、親子給食会の実施～年2回
- (8) PR活動の強化（パンフレットの作成）

## 「ふくし応援し隊カフェ」

### 『第1回』

実施日 8月18日  
内容 「転倒予防ストレッチ」  
参加人数 6名  
講師 機能訓練指導員





## 『第2回』

実施日 9月15日  
内容 「お口の健康」  
参加人数 6名  
講師 機能訓練指導員



## 『第3回』

実施日 10月20日  
内容 「サルコペニアについて」  
参加人数 7名  
講師 機能訓練指導員



## 『第4回』

実施日 11月17日  
内容 「サルコペニアと栄養について」  
参加人数 7名  
講師 機能訓練指導員



## 『第5回』

実施日 12月15日  
内容 「腰痛について」  
参加人数 6名  
講師 機能訓練指導員



## 『第6回』

実施日 1月19日  
内容 「認知症を知らう！」  
参加人数 6名  
講師 機能訓練指導員



## 『第7回』

実施日 2月16日  
内容 「肩こり予防」  
参加人数 7名  
講師 機能訓練指導員



## 『第8回』

実施日 3月16日  
内容 「サルコペニア予防講座（今までのおさらい）」  
参加人数 7名  
講師 機能訓練指導員



## (ウ) 介護部

### (1) ファーストジョブトレーニング研修の実施

今年度より取り入れた、研修後の理解度テストの実施により、基礎知識の獲得や技術の習得を充実させることができました。

新人職員に対し、エルダーやメンターとなる主任級職員を設定し、研修の予習や復習、相談などを実施したことで、新人職員の介護に対する不安の軽減も図れました。

#### ファーストジョブトレーニング研修の実施内容

月	日	研修内容	対象人数
4月	22日	マナー・ベッドメイキング	5名
5月	27日	介護マニュアル・記録の書き方	5名
6月	24日	移乗・移動・介護用具の使い方	5名
7月	29日	パット交換・トイレ介助・褥瘡の理解	7名
8月	26日	食事の介助	9名
9月	23日	介護技術テスト	5名
10月	28日	入浴の介助	17名
11月	25日	感染症対策と衛生管理	8名
12月	23日	緊急時の対応	11名
1月	27日	体位変換と腰痛予防	7名
2月	24日	24Hシート使用方法	3名
3月	24日	介護技術テスト	1名

### (2) 褥瘡発生数の減少

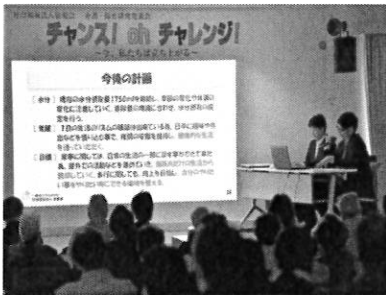
従来の「褥瘡危険因子評価」と共に、昨年度より取り入れた「ブレイデンスケール」、「OHスケール」を活用して、栄養状態の改善や危険部位に対する対応を検討し、実践しました。

ハイリスク者を抽出することで、その対象者によつての対応方法を細かく設定し、実践してきたことで、目標を達成することができております。

### (3) 職員研究発表会

平成29年3月18日に南那須公民館にて、「チャンス！ or チャレンジ！」をスローガンに「第一回介護・保育研究発表会」を開催致しました。職員が一丸となり、準備や広報活動を実施しました。広告、チラシの配布及び地域のテレビ局1社の取材、新聞2社の実施要綱記事の掲載など、一人でも多くの方が来ていただけるようお知らせをしました。

研究発表会当日、初回ではありましたが、100名近い来場者がありました。他職種で取り組んだ研究発表内容となり、地域の方や入居者家族様からも「良かった。」との声をかけていただくことができました。今回の結果・反省をもとに、平成29年度の第2回研究発表会に繋げていきます。



## ◎特別養護老人ホーム敬愛荘

### (1) 雑務の省略化

タブレットの導入により職員の雑務時間の省略化が図られ、ご利用者様の処遇にあてることができるようになりました。ご入居者様の生活の記録は、パソコンがある場所限定になっていました。タブレットを導入したことで、持ち運び可能なため、ご入居者様の近くでコミュニケーションを図りながらの記録が行えるようになりました。



## ◎特別養護老人ホームてんまりの杜

### (1) 生き生きとした暮らしの援助

入居者様の健康面・ADL低下の予防に取り組みながら、外出・外食支援、趣味活動を実践してまいりました。希望する内容も入居者様一人ひとり異なる為、聞き取りを実践しながら、毎日の生活にメリハリをつける事で、生活の質の向上を図りました。

[ 外出 ]



[ たこ焼きパーティー ]



## ◎介護計画課

サービス担当者会議においてご本人様の身体能力の向上を常に意識したプランの策定、また、軽微な状態変化、ご要望の変化においても即時各専門部署の担当者での臨時会議により方針の再設定によるご利用者様個人の身体状況に合わせた支援方法をご提案、決定していくことができました。

また、在宅サービスへの転換が考えられるご利用者様、そのご家族様に対し不安感を軽減しつつ支援方法の策定を協議することができたと思われました。また、次年度へ向けご本人様が目標とする事柄に対しての身体的状況向上のみならず、自己実現へ向けての具体的な支援のタイミングや連絡調整を行い、生活の質においても向上できる支援を策定していきます。

## ◎グループホーム さらい

(1) グループホームの入居者の方と共に地域活動を行なう。

地域への奉仕活動へ積極的に参加をしました。滝田地区の年2回の草刈り作業を行った際には、手慣れた感じでどんどん作業を進めていく姿はとても頼もしく、終了後に地域の方より「お疲れ様」と声を掛けられると、とても満足そうな表情でした。

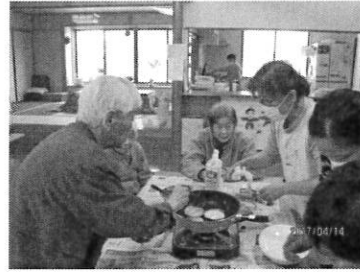


(2) 認知症の方の生活能力を引き出した活動支援を行なう。

利用者の方がひとつでも多く出来ることを引き出して、やりがいのある生活が送れるように「出来ることシート」を作成したことで、日常的役割が増えました。

日常的役割を担うことで、利用者の方が自信を得てやりがいにつながってきました。

やりがいが持てる支援として下半期より「人の役に立つ人になる」ことを目標に掲げて、地域へ出て働く場所づくりを実施しました。駅前広場タッチにて開催しているよつばカフェへ参加して、接客対応やデザート提供を行いました。地域の方と触れ合える場として 毎回の開催を楽しみにしています。



◎平成 28 年度 認知症カフェ(よつばカフェ)実施報告

今年度、7月より駅前ひろばタッチのオープンに伴い、場所・名称を変更して実施致しました。

月	日	場所	内容	参加人数
4月	24日	てんまりの杜	押し花コースター	5名
5月	29日	さらい	和紙しおり作り	3名
6月	26日	さらい	炭酸まんじゅう作り	8名
7月	23日	駅前ひろば タッチ	ワンコインカフェ	1名
8月	12日	駅前ひろば タッチ	談話	0名
9月	10日	駅前ひろば タッチ	押し花コースター	7名
10月	8日	駅前ひろば タッチ	キャンドル作り	1名
11月	26日	駅前ひろば タッチ	クリスマスリース作り	6名
12月	10日	駅前ひろば タッチ	お正月の飾り物	6名
1月	14日	駅前ひろば タッチ	小物入れ作り	8名
2月	10日	駅前ひろば タッチ	手指編みマフラー	8名
3月	10日	駅前ひろば タッチ	小物入れ作り	6名
(合計)				59名

(よつばカフェの風景)



(エ) 在宅介護事業部

デイサービスやショートステイを利用することが生活の一部になるサービスを目指して、ご利用者やご家族のニーズへの対応に努めて参りました。また、各居宅支援事業所との連携を密に行うことにより、在宅生活での困難事例を受入れることで、ご家族の介護負担軽減につながるよう取り組みました。平成29年度も、ご利用者にサービスを利用する楽しみを感じて頂ける行事の実施と、在宅生活での困難事例への対応を継続していきます。

◎敬愛荘デイサービス

月替わりでフェア食、行事を実施

2年目をむかえたフェア食はメニューにもこだわりを持って提供しました。また、参加する楽しみを持てる行事も実施しました。

月	提供されたフェア、行事
4月	おやつバイキング (オレンジゼリー、カスタードプリン、ミニシュークリーム、ようかん、煎餅、たこ焼き)
5月	新緑のちらし寿司フェア (ちらし寿司、すまし汁、浅漬け、フルーツ) 手作りおやつ (柏餅)
6月	バーベキューフェア (焼肉、焼きおにぎり、浅漬け、ドリンクバー) 梅酒、梅ジュース作り (敬愛荘で採れた梅を使用)
7月	手打ちそばフェア (八溝そば、天ぷら、だし巻たまご、フルーツ) 七夕飾り
8月	デイサービス夏祭り
9月	秋の味覚さんまフェア (炭火焼きのさんま、きのこごはん、栗ごはん、フルーツ)



10月	アジアンフェア（プルコギ、塩爆鮮貝、ライチ、マンゴー） 秋のデイサービス運動会（ショートステイ、なごみの利用者を招待）
11月	ラーメンフェア（醤油ラーメン、味噌ラーメン、餃子、ちまき、もつ煮）紅葉ドライブ（乾徳寺～道の駅ばとう）
12月	デイサービスクリスマス会、紅白歌合戦
1月	スペインフェア（パエリア、スペイン風オムレツ、わかさぎのエスカベッチェ、マセドニア、カタラーナ、ホットワイン）
2月	ご当地おでんフェア（みそおでん、博多おでん、富山おでん、静岡黒おでん、うどん、フルーツ）
3月	懐かしのごちそうフェア（ライスカレー、うずら卵串フライ、フルーツポンチ）懐かしい写真、古地図の展示など

（おやつバイキング）



（手打ちそばフェア）



（柏餅作り）



(1) 個別機能訓練の実施

平成 28 年度より理学療法士による、ご利用者の状態に合わせた個別の機能訓練計画の作成、実施をしております。在宅生活における日常動作の維持・向上に取り組んでいます。

個別機能訓練実施者延べ人数（要支援利用者含む） 4140 名

(2) 総合事業の開始

平成 28 年度より那須烏山市で総合事業が開始され、烏山地区の対象者へのサービス提供を実施しました。

◎敬愛荘ショートステイ

(1) ご利用者参加型の行事や手作りおやつを実施

季節に合わせた行事や、職員とご利用者が一緒に作って召し上がれる参加型のおやつ作りを実施しました。

月	提供した行事、手作りおやつ
4月	ちぎり絵制作
5月	こいのぼり制作、パンケーキ
6月	あじさい制作、クレープ
7月	わたあめ

8月	かき氷
9月	ホットケーキ
10月	ホットケーキ
11月	すずカステラ
12月	しめ飾り制作、クリスマス会、カラオケ大会、デコレーションケーキ
1月	かるたとり大会
2月	豆まき、恵方巻き、バレンタインケーキ
3月	ひな祭り会、フルーツパンケーキ

(クリスマス会)



(かるたとり大会)



(ケーキ作り)



◎小規模多機能ホームなごみ

利用者、家族の都合で急なサービス変更があった場合にも柔軟な対応でショートステイ、デイサービスの組み合わせの変更や利用日の変更など柔軟に対応してサービスの向上に努めてきました。日常生活では利用者の希望やその日の天候で行事を企画し実行しました。

◎敬愛荘在宅介護支援センター

個人の残存能力、介護者の介護力等をアセスメントし、その都度必要なサービスを提案することで、抱えている問題の解消に向けた支援を行って参りました。

3. 平成28年度利用実績情報  
特別養護老人ホーム 敬愛荘

月別施設入居者（定員80床）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ入居者	27年度	2,382	2,475	2,318	2,390	2,390	2,310			
	28年度	2,274	2,367	2,330	2,406	2,405	2,310			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ入居者	27年度	2,388	2,266	2,421	2,309	2,212	2,298	28,159	77.1	96.6%
	28年度	2,415	2,391	2,480	2,477	2,224	2,477	28,556	78.2	97.7%

年間要介護状態区分

区分		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均介護度
延べ入居者	27年度	0	0	3,311	10,297	14,551	28,159	4.2
	28年度	212	0	5,631	8,831	13,882	28,556	4.3

新規退去・入居者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
28年度退居者		3	0	2	1	2	0			
28年度入居者		3	3	1	2	0	2			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
28年度退居者		3	4	1	1	4	1	22		
28年度入居者		4	4	2	1	4	1	27		

特別養護老人ホーム敬愛荘 短期・通所

月別施設利用者（定員15床） 短期

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	27年度	453	418	419	382	399	398			
	28年度	371	335	315	366	355	370			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者	27年度	417	399	343	362	362	387	4739	13.2	86.3%
	28年度	394	337	326	341	372	377	4259	11.6	77.7%

月別施設利用者（定員30名） 通所（みなし含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	27年度	621	647	702	633	651	681			
	28年度	655	662	654	667	701	685			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者	27年度	695	640	690	646	633	688	7927	21.7	72.2%
	28年度	708	663	692	653	632	685	8057	22.0	73.5%

月別施設利用者（定員15名） 総合事業（独自）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	28年度	12	11	15	25	15	25			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者	28年度	19	20	23	16	25	38	244	4.9	32.5%

月別居宅介護支援状況 居宅

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	27年度	103	100	100	102	102	100			
	28年度	104	103	106	109	108	106			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
延べ利用者	27年度	98	100	99	92	93	101	1125	93.8	
	28年度	107	104	98	100	102	107	1254	104.5	

特別養護老人ホーム てんまりの杜

月別施設入居者（定員29床）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ入居者	27年度	860	872	862	891	899	845			
	28年度	870	892	864	881	899	870			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ入居者	27年度	868	858	899	899	817	889	10,483	28.7	99.3%
	28年度	879	859	877	896	797	850	10,434	28.6	98.6%

年間要介護状態区分

区分		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均介護度
延べ入居者	27年度	366	121	4,601	3,195	2,200	10,483	3.6
	28年度	5	705	2,856	3,098	3,770	10,434	4

新規退去・入居者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
28年度退居者		0	1	1	2	0	0			
28年度入居者		0	1	1	2	0	0			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
28年度退居者		2	1	3	1	2	2	15		
28年度入居者		1	2	3	1	1	3	15		

小規模多機能ホームなごみ

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
登録者数	27年度	22	22	21	22	23	20			
	28年度	23	23	23	23	22	23			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
登録者数	27年度	20	22	23	23	23	23	264	22.0	
	28年度	22	22	22	22	22	23	270	22.5	

月別宿泊サービス利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
利用者数	27年度	247	258	227	247	228	215			
	28年度	258	251	218	275	262	238			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
利用者数	27年度	221	217	256	260	257	258	4,393	240.9	
	28年度	250	218	246	267	229	242	2,954	246.2	

月別通いサービス利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
利用者数	27年度	445	438	409	432	433	379			
	28年度	452	448	439	482	458	455			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
利用者数	27年度	404	391	454	438	441	452	5,116	426.3	
	28年度	471	400	447	462	419	476	5,409	450.8	

グループホームさらい

月別施設入居者（定員18床）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ入居者	27年度	540	545	526	551	558	536			
	28年度	538	558	523	553	558	540			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ入居者	27年度	558	540	558	558	522	553	6,545	17.8	99.6%
	28年度	558	536	555	546	504	558	6,527	17.8	99.3%

にじいろ保育園

月別利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
利用者数	28年度	8	8	8	10	10	10			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均数	
利用者数	28年度	9	9	9	10	10	10	111	9.3	